



「みえない」から考える テーブルデザインワークショップ

絵本とデザインの可能性を拓く



イベント概要

①限目 | まちづくり連続レクチャー

「オーダーメイドで身体を拡張する」

時間 | 10:00 - 11:50

内容 | 障害者の方々の身体を拡張し、環境を活用しやすくなるための道具として、車椅子や白杖などがあります。近年では、3Dプリンタを使って、その人にあった自助具をオーダーメイドで開発する研究が進んでいます。最新の研究・開発事例の紹介を通して、身体拡張と公共空間との結びつきを考えていきます。

備考 | 90分程度のレクチャーの後、質疑応答の時間を15分程度設けます。



講師略歴 | 硯川潤

厚生労働省 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部長。
情報通信技術を活用した福祉機器の臨床評価支援手法の開発、障害者の防災対策支援などに従事している。自身も電動車椅子ユーザであり、研究者・当事者双方の立場から障害者の自立支援に取り組んでいる。

②限目 | ワークショップ

「“みえない” から考える

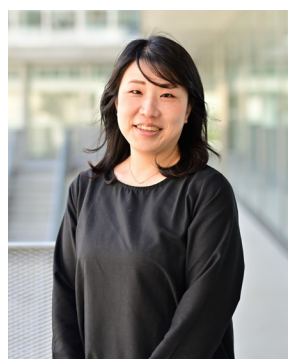
テーブルデザインワークショップ」

時間 | 13:30 - 16:00

内容 | 目の見えない人がインスタントコーヒーを作るとしたら、どんなテーブルが使いやすいのでしょうか。本ワークショップでは、テーブルデザインと制作を行い、目を閉じてコーヒーを作ってみましょう。からだの特徴に応じて身の回りの環境は感じ方がどう変わるのか、他者の視点を学びながら、デザインについて考えます。

備考 | 持ち物は特に必要ありません。

※小学生以下は、保護者同伴でご参加ください。



講師略歴 | 平井百香

日本女子大学建築デザイン学部建築デザイン学科助教。視覚障害者や子どもなど、空間の捉え方が異なる方々の暮らしの場面に着目した研究を行っている。研究成果を活かして、建築・家具・プロダクト等のデザインにも携わる。



えんのもりプロジェクトについて

2027年板橋駅板橋口地区公益エリア整備と2029年西口駅前広場リニューアルをきっかけに、板橋の玄関口が「えんのもり」として生まれ変わります。完成に向けて様々な立場の人が混ざり合い、学び、議論しながら、えんのもりをつくっていきます。



えんのもりスクール
en no mori school

えんのもりスクールでは、まちづくりに関するレクチャー、緑やまちについてのワークショップ・まちあるきのイベントを、令和7年度から、3か月に1回程度の頻度で開催していきます。区民、事業者、設計者、区職員が混ざり合って共に学び、完成後のえんのもりの活用や維持管理について、継続的に議論していきたいと考えています。

公式 INSTAGRAM

事業概要やイベント情報などを随時発信していますので是非フォローください。



ENNOMORI_ITABASHI